

令和2年度 地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	目標 期間	実績値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	
1	栃木市観光魅力アップ計画 (R01～R03年度)	栃木市観光魅力アップ事業	<ul style="list-style-type: none"> 観光を通じた地域の活性化を図るために、地域の関係者や観光関連事業者で構成される「栃木市観光まちづくり推進連絡会議」が中心となり、多くの観光資源の再発掘・磨き上げやそれらをつないだモデルルートの開発、戦略的な情報発信、また、各地域に設置された地域ワーキンググループを活用しながら、人材の発掘・育成を実施する。 観光を軸とした地域の幅広い関係者が連携し、魅力ある地域づくりを実践していくことが本市の目指す「観光まちづくり」に必要な不可欠であることから、連携を推進し国内外から観光客を誘致するために、各種事業を実施する。 	① 観光資源データベースを利用して訪れた観光客数	6,000 人増	R2年度	107人増	達成状況及び今後の取組方針
					15,000 人増	R01～R03	107人増	
				② セミナー参加者数	300 人増	R2年度	37人増	
					800 人増	R01～R03	37人増	
				③ 観光客入込数	30,000 人増	R2年度	1,937,000人減	
	90,000 人増	R01～R03	2,154,285人減					
			④ 観光消費額	150 円増	R2年度	-	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の中止や見直しをせざるを得ない状況の中、感染予防対策を徹底したうえでの事業展開を行ったが、目標値を大きく下回る結果となった。 令和元年度に構築した「栃木市観光資源データベース」に蓄積された栃木市全域の観光資源の情報を随時更新し、適切に管理・情報発信する。 市の新たな魅力となるスポーツに触れ、「観る」「体験する」だけでなく「支える」ことで、栃木市ファンの醸成を図るスポーツツーリズムを推進する。 一元化された観光資源データベースを基に活用の仕方や観光資源のストーリー性、他市との連携、モニターツアーやセミナー等を実施し、面的な広がりを推進するとともにシビックプライドの醸成を図る。 今後も「蔵ナビ！」を軸に一般観光客だけでなく、観光事業者や学習の一環として教育機関へ積極的にPRしていく。 栃木市らしい、栃木市ならではの「観光まちづくり」の推進及び「安全安心」に楽しめる観光地であることを発信する。 	
				450 円増	R01～R03	-		
			⑤					
2	栃木市空き家・空き店舗・空き蔵を活用した重伝建地区活性化計画 (R02～R04年度)	栃木市空き家・空き店舗・空き蔵を活用した重伝建地区活性化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 味噌工場跡地をまちづくりの拠点として、地区内の空き家・空き店舗・空き蔵の活用を図る。 嘉右衛門町伝建地区の歴史を後世につなぐための情報発信を行うガイダンスセンターとして旧味噌工場跡地を活用するほか、跡地内の伝統的建造物を若者が訪れる飲食店舗等として活用する。 空き家等の物件のデータ及び所有者や利用希望者の意向等を一括管理し活用に繋がる様、マッチング事業を実施する。 	① 拠点施設及び地区内イベントの入込客数	2,000 人増	R2年度	0 人増	達成状況及び今後の取組方針
					6,000 人増	R02～R04	0 人増	
				② 空き家・空き店舗・空き蔵を活用した件数	1 件増	R2年度	2 件増	
					5 件増	R02～R04	2 件増	
				③ 新規出店数	1 店増	R2年度	3 店増	
	3 店増	R02～R04	3 店増					
			④ まちづくりセミナーの参加者数	30 人増	R2年度	0 人増	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、嘉右衛門町伝建地区拠点施設のガイダンスセンター等のオープンが延期となったことから、令和2年度はオープンに向けた準備を行った。 地元組織である嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会のNPO法人化に向けた手続き等の支援を行った。 	
				130 人増	R02～R04	0 人増		
			⑤					

令和2年度 地方創生関連交付金活用事業 検証結果

	地域再生計画	地域再生を図るために行う特別措置適用事業		重要業績評価指標 (KPI)				達成状況・評価
	計画名 (計画期間)	事業名	事業概要	指標名	指標値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	目標 期間	実績値 (上段：前年度比) (下段：期間累計)	
5	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シナ ジーマルシェ」整 備による産業活 性化計画 (H30～R4年度)	とちぎ山車会館 広場「蔵の街シナ ジーマルシェ」整 備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「蔵の街シナジーマルシェ」を整備することにより、本市の各産業連携による相乗効果を発揮できる「市～マルシェ」を創設するとともに、市民や観光客の休憩スペース及びイベントスペースとして新たな活用を図る。 ・小屋掛けや倉庫を設置し、周辺の景観にも配慮した整備を行うことで、本市の観光資源のブラッシュアップと新たな魅力創造の一助とする。 	① 本事業による「蔵の街シナジーマルシェ」 「各種イベント」稼働 日数	100 日増	R2年度	19日減	達成状況及び今後の取組方針
				② 市内事業所年間売上 額	10 百万円増	R2年度	-	
					43 百万円増	H30～R4	-	
				③ 観光消費額	150 円増	R2年度	-	
					750 円増	H30～R4	-	
④								
⑤								
			<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のためのイベント開催マニュアルを作成した。 ・マルシェ開催者に対し、イベント開催マニュアルに基づき感染症予防対策を徹底するよう指導し、5回のマルシェが開催された。 					<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の中止や見直しをせざるを得ない状況の中、感染予防対策を徹底したうえでの事業展開を行ったが、目標値を大きく下回る結果となった。 ・今後においては、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大予防を徹底したうえで、農・商・工・観光等の様々な業種が連携したイベントの開催を実施するとともに、アフターコロナを見据えた効果的な情報発信を行う。